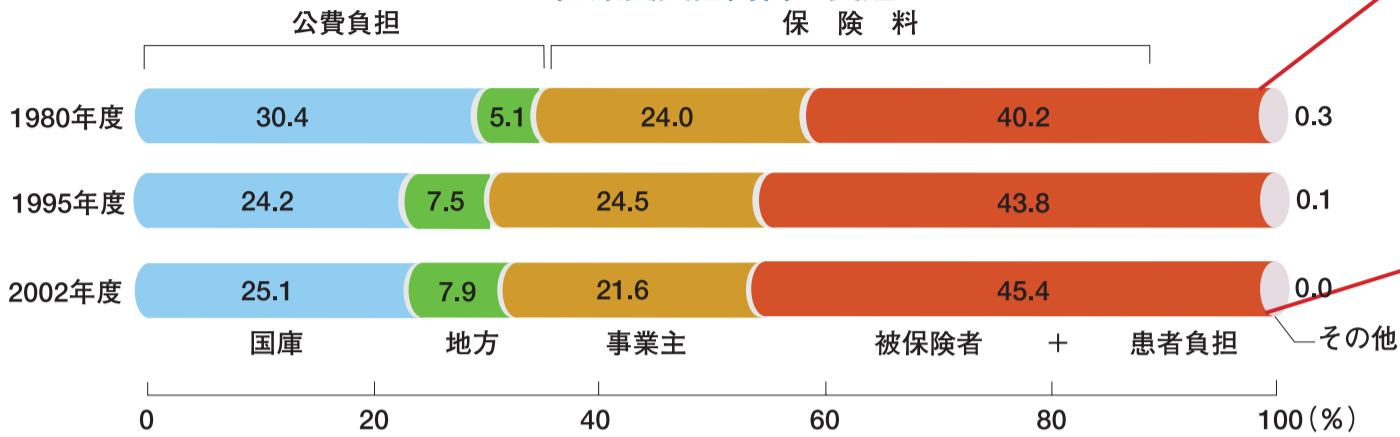


医療費について考えてみましょう!

—みなさんの負担が増えています—

医療費負担割合の変遷



保険料と窓口負担を合わせた患者さんの負担は1980年の40%から2002年の45%へすでに引き上げられています。

増大!! 国民の痛み

医師会だより

Vol.2

発行/ (株)大村市医師会
大村市協和町779番地
TEL 0957-54-0151
FAX 0957-54-3646
印刷: (株)つじ印刷

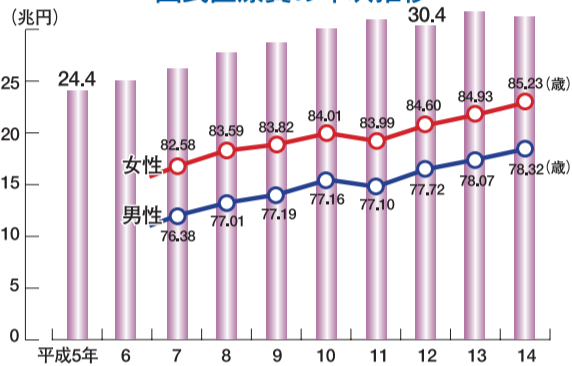
厚生労働省の将来予測

	平成12年	平成16年	平成22年	平成35年
厚生労働省の将来予測				
平成7年の予想	38兆	50兆	68兆	141兆
平成9年の予想				104兆
平成12年の予想				81兆
平成17年の予想			41兆	69兆
実際の国民医療費	30.4兆	32.1兆	?	?

予測より低い医療費

実際の国民医療費は、過去の厚生労働省の予測値を常に下回ってきています。今後の予測値も、下方修正される可能性が高いと考えられます。

国民医療費の年次推移



確かに国民医療費は年々増加していますが、平成11年を境にそのあがり方は少なくなっています。

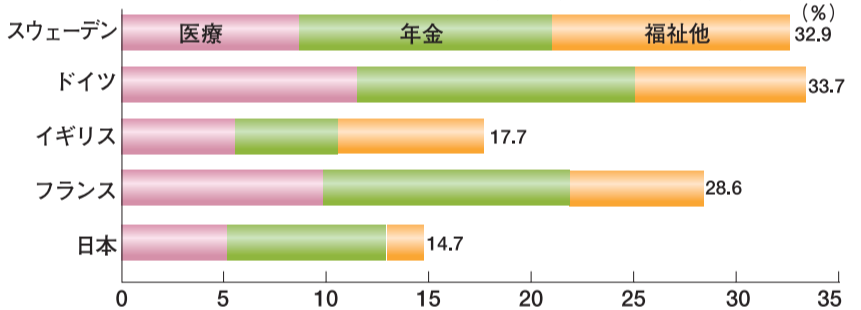
厚生労働省の予測に反し、この数年間の医療費は伸びていません。

また、わが国の社会保障給付費はヨーロッパ諸国に比べ低い水準にあります。しかし、個人の負担は増加し、国の負担は減っています。

私たち医師会は、これ以上の国民負担増には反対しています。



社会保障給付費/国内総生産(GDP)の国際比較 (%)



国内総生産に占める社会保障給付費の割合は、福祉先進国といわれる北欧のスウェーデンやドイツ、フランスに対し、日本はかなり低い水準であり、北欧諸国の1/2、ヨーロッパ諸国の2/3となっています。
(全国保険医団体連合会) 資料より

健康コラム

vol.2

予防接種は『無料』を上手に使いましょ

大村市医師会 副会長 野口 哲彦

予防接種法や結核予防法が変わってきています。自分(子ども)の健康は積極的に自分で(親が)守ろうというふうになりつつあります。結核予防法では小・中学校でのBCG接種(はんこ注射)が中止になり、乳幼児では4歳半まで無料でできたBCG接種も生後6ヶ月以上は有料になりました。また、予防接種法では中学校での日本脳炎予防接種(無料)が中止になりました。大村市では小学校での日本脳炎やジ

フテリア・破傷風の集団予防接種は個別接種に変わる予定です。少し問題があった日本脳炎ワクチンは今夏前に新しいワクチンに変わる予定です。長崎県では豚の日本脳炎ウイルス保有率が高いのでワクチン接種をしておいた方が安全と思われます。また、今年4月からは麻疹と風疹の予防接種は混合ワクチンとなって1歳の時のみ無料で、2歳になってしまうと有料になります(今年3月までは7歳6ヶ月未満は無料です)。無料という事の中には「副作用が発生した場合に国が責任を持って保証します」ということが含まれていますので、単に有料・無料だけの違いではないことも知っておいてください。忘れていた予防接種はありませんか? 右の表で確認し、子どもを病気から守りましょう。

予防接種に関する質問はかかりつけ医か健康増進課にご相談下さい。

いつでもいいと思いませんか? 予防接種

麻しん・風しんは1歳になったらすぐ!

ワクチン	3か月	6か月	9か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
麻しん(はしか) 風しん				■	■										
ポリオ		■	■	■	■	■	■	■	■	■					
ジフテリア 百日せき		■	■	■	■	■	■	■	■	■					
破傷風(DPT)															■
日本脳炎															■
BCG(結核) (平成17年4月~)		■	■												

上の表の ■ および ■ の期間は、予防接種法などで定められた予防接種の期間です。これらの期間中であればいつでも接種可能ですが、病気にかかりやすい年齢を考慮して定められた時期(標準的な接種年齢)である ■ の期間中にできるだけ接種を受けましょう